



# Pure 純 No.185 Pacific パ May.2016

純パの会会報『純パ』第185号

2016年5月28日発行 / 発行:純パの会

## 総会&合同観戦「東京で北と南の対決!」

～「2016年 純パの会総会」報告～

塚原 隆(東京都新宿区)

※写真撮影:影山一義/塚原隆

スライド作成、順位予想集計:田中尚

2016年純パの会総会は、合同観戦と併せ二十余名の会員の方が参集し、大いに盛り上がりました。今年の開幕は賭博問題もあり、開幕戦が予定通り開催されない懸念もありましたが、なんとか予定通り開幕することができました。

今年も合同観戦の予定として関西や東北の地方遠征も企画しておりますので、全国の会員の皆さんとも交流を深めていきたいと思っております。

日時:2016年4月2日(土曜日)13時00分～

場所:御茶ノ水 ケーズ

【出席者・順不同・敬称略】塚原隆、岩河正剛、影山一義、小暮清之、松場重樹、神田裕子、田中尚、中川克己、明石玲子、岩橋伴武、萩原俊徳、滝口義治

【合同観戦からの出席者】高橋豊、鈴木幸敬、土岐英一郎、鈴木恵美子、鈴木勇太郎、高橋浩一、小川裕司、児玉克江、梅田恒

### ●事務局長あいさつ 塚原 隆

例年だと総会が会員の皆さんがその年に初めて顔を合わせる場でしたが、最近では2月あたりから野球場跡地巡りなどのイベントが開かれシーズンが始まる前から活動が活発になってきました。

また外部の方との接触も増え、純パの会の知名度もそこそこ高まってきております。今年1年、皆さんと共に純パの会を盛り上げていきたいと思っております。



シーズンの方は開幕して6試合を消化しましたが、パ・リーグはホームランが出ませんね。昨日(4月1日)現在、パ・リーグは8本、セ・リーグは29本。球場の大きさの問題なのか、投手力の問題なのか、ペナントレースが展開するにあたり、このあたりも楽しんでいきたいと思えます。

### ●乾杯 中川克己さん

青バットの天下弘に憧れて、それ以来、フライヤーズ～ファイターズを応援しております。今年も皆さんと共にパ・リーグを盛り上げていきましょう。

——乾杯——



### ●2016年 純パの会活動予定発表(田中尚さん)

#### 【終了したもの】

2月13日(土)第3回 パ・リーグ歴史探訪

(日本ハム球団多摩川グラウンド&川崎球場跡地 ※会報184号参照)

3月13日(日)東京野球ブックフェア2016(世田谷ものづくり学校)

#### 【活動予定】

【合同観戦】関西遠征

6月25日(土)バファローズvsファイターズ(ほっともっとフィールド神戸)

※「Area26」で懇親会

6月26日(日)バファローズvsファイターズ(京セラドーム大阪)

※「パ・リーグ歴史探訪」を同時開催

【合同観戦】東北遠征

9月3日(土)イーグルスvsホークス(楽天Koboスタジアム宮城)

9月4日(日)イーグルスvsホークス(楽天Koboスタジアム宮城)

●2016年 パシフィック・リーグ順位予想(田中尚さん)



	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
H	40	16	8	4	1	1
Bs	7	8	14	12	17	12
F	10	25	14	13	7	1
M	7	5	8	22	19	9
L	5	15	21	12	11	6
E	1	1	5	7	15	41

投票結果を見ると優勝ホークス、最下位イーグルスは確定って感じですかね。  
投票はまだ受付しておりますのでよろしくお願ひします。

●新入会員のご紹介

今総会に新たに3名の方が私たちの仲間となり、総会に出席していただきました。それぞれ3名の方の紹介をいたします。

岩橋伴武さん

愛知県半田市から来た岩橋です。小学校の時に父親に最初に連れて行ってもらったのがナゴヤ球場の近鉄バファローズ対阪急ブレーブスでした。米田哲也や長池徳二が活躍していた時代です。それ以来、阪急ファンになり、パ・リーグファンになったわけです。パ・リーグがこんなにも盛り上がって、嬉しいかぎりです。



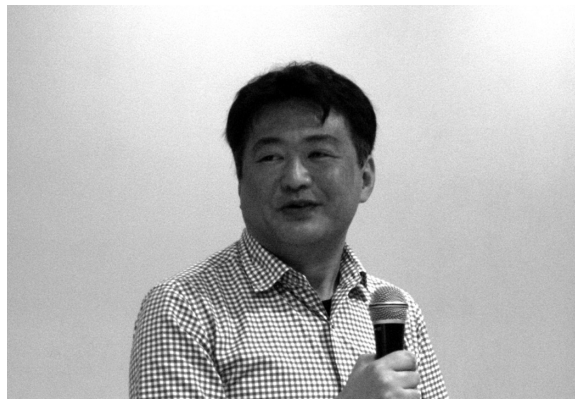
### 滝口義治さん

父親が昭和25年からの毎日オリオンズファンだったので、その影響で私も千葉ロッテマリーンズのファンになりました。選手の最良としては今年野球殿堂入りした榎本喜八さんの大ファンです。そのきっかけは「千葉ロッテマリーンズ50年史」という書籍を購入し、榎本喜八さんの偉大な功績を知ったからです。これからもよろしく願います。



### 萩原俊徳さん

先日、開催された“東京野球ブックフェア”に足を運んだ際に純パの会のブースに立ち寄り入会させていただきました。私は少年ファイターズからスタートし、その後川崎球場時代のロッテのファンになりました。その当時の4番打者は古川慎一でした。川崎球場には良く観戦に行きました。これからはイベント等に参加していきますのでよろしく願います。



## ●「2016年パシフィック・リーグペナントレース展望」座談会

(※注：アルファベットは発言者のひいきチームを表します)

### イーグルスは三木谷オーナーが監督？

E：今年も順位予想はダントツでホークスですね。開幕して6試合を消化し、昨日時点(4月1日)の順位は、1位マリーンズ、2位イーグルス、ファイターズとライオンズが同率3位、5位がホークス、6位がバファローズとなっています。順位予想ではイーグルスが最下位なのが解せません。もう少し上にいっても良いような気がします。

M：今江敏晃の活躍次第ですかね。好機にゲッター打ってチャンスを潰さなければ良いですけど…(2015年は規定打席不足ながらも併殺打を17も記録)

Bs：イーグルスは監督が梨田に変わったので期待できますかね。

M：ナンダカンダ言いながら梨田監督は、バファローズやファイターズも優勝に導いていまずからね。

Bs：イーグルスはそもそも得点力が低いと思います。

E：日本一になった時のマギーみたいにチャンスに強い打者がいませんね。

Bs：あの年は負けないマー君の存在も大きかった。確実に勝利が計算できたよね。今のイ

ーグルスは計算できる投手が少ないですよ。

L：今年はオープン戦から岡島豪郎が好調ですね。日本一になった時の活躍が出来れば期待できますよ。

Bs：一番懸念することはオーナーが打順を決めないことですかね(笑)

E：来年あたり、三木谷オーナー自身が監督をやるかもしれませんよ。

### バッファローズがパ・リーグをかき回してほしい！

E：毎年、シーズン前には期待大のバッファローズは如何でしょう？

L：開幕2試合目なんか内野で5失策だからね。サードのモレルが二つ、ショートの中島裕之、セカンドの西野真弘、ファーストのT-岡田がそれぞれ一つずつ失策でした。

E：安達一がケガで不在なのが痛いよね。

H：今日は試合出ているようです。

E：なかなか金子千尋が勝てませんね。開幕戦もいいピッチングしてたけどね。

L：う～ん、開幕戦は引っぱり過ぎたかな。

E：イーグルスとバッファローズの二球団がかき回してくれるとパ・リーグも盛り上がると思いますよ。

Bs：セットアッパーの佐藤達也も通用しないのかな。

L：昔の信頼感は無くなっているよね。

E：開幕戦もあの寒い西武プリンスドームでは半袖で投げていたけど… 元気は元気ですよ。

M：バッファローズは、左ピッチャーが居ないのが苦しいね。

### マリーンズは年間を通しての優勝が45年間もない

E：マリーンズは3位狙いですか。

M：いやいや優勝を狙っていますよ。

L：ファンは願っているけど、フロントが本気になっているか疑問ですね。

M：今年は88本を如何に減らすかが目標でもあります。

H：88本って、福浦和也の2000本安打到達までの残りの安打数のこと？

M：そう、それでAクラスに入れればいいかなって思っています。

E：なんだ、結局3位狙いじゃないですか…

Bs：順位予想するときが一番迷うのはマリーンズを何位にするかなんですよ。

E：マリーンズは1970年以来、シーズン通して優勝していないですよ。

Bs：カネやん(金田正一)が監督の時でしたっけ？

E：いやいや、その前の濃人監督の時ですよ。東京スタジアム時代です。カネやんが日本一になったのは1974年ですよ。あの年は2シーズン制で後期に優勝して、プレ



ーオフに阪急ブレーブスに勝って日本シリーズに出場したから、シーズンを通しての優勝じゃないんですよ。つまり45年間もシーズン通しての優勝がない！

### ファイターズはAクラス確実！

Bs：中田翔、大谷翔平の名前は野球にあまり関心がない人でも知っていますからね。そういう選手を抱えていることは強いですよ。

H：毎年、優勝争いには顔を出すので、今年も期待できますよ。

E：ファイターズは、Aクラスは確実だと思います。

### ライオンズはイエローユニフォームの復活？

L：ライオンズは選手層の厚さでは負けていないと思います。昨年のように13連敗しなければいけると思います。三振数が多いのも気になります(2015年チーム三振1194個=12球団一)。

Bs：そういえば森友哉はどうしたの？

L：今、出番はありませんが、不調の山川穂高と入れ替えで一軍に上がってくると思います。

E：ライオンズはホークスに勝てないと優勝出来ないと思います(2015年のライオンズの対ホークス対戦成績=7勝16敗2分け)。

H：天王山とか言われる重要な試合に勝てる力量を持たないといけませんよ。

Bs：ライオンズは先発投手陣が課題かな？

H：ライオンズは今年もイエローユニフォームを着用してほしいですね。

L：あれはもう着ないと思います。ネタだけの話で終わりです。

### 新人の活躍は？

L：オコエ瑠偉(イーグルス2015年ドラフト1位)はどうですか？

L：出場してあれだけスタンドが沸く選手は稀だと思いますよ。スターだと思います。大事に育てていきたいですね。

Bs：守備と走塁なら一軍レベルだしね。

L：将来的に有望な若手選手の育成として、とりあえず一軍に帯同させて育てるのか、二軍で鍛え上げるのか、どちらがいいのしょうかね。

M：オコエ瑠偉が一軍にいれば他の選手への刺激にもなります。

L：平沢大河(マリーンズ2015年ドラフト1位)の入団により鈴木大地が覚醒されてきたということもありますからね。大物新人が入る影響ってありますよ。

E：吉田正尚(バッファローズ2015年ドラフト1位)は昨日まで新人開幕6戦連続安打ですね。

### グッズやユニフォームの話



H：昨日は6球場の中で一番観客が入ったのは京セラドームですからね(33,156人)。

M：あれはマフラータオルを入場者全員に配ったからじゃないですか。

L：最近グッズももらえる試合って完売になるね。

M：じゃあグッズもらいに野球見に来るファンが増えているってことですかね。

E：そういえば西武プリンスドームの開幕三連戦もフラッグやフリースがもらえました。

L：あのフリースの出来栄えが良かったね。

H：コボスタの開幕は、初日がフリースポンチョで、二日目がネックウォーマーでした。でもグッズももらえるのは良いけど、帰りに荷物になるんだよね。

L：最近のグッズはクオリティが下がってきていますね。昔、ライオンズクラシックのユニフォーム付きチケットは、ナイキ製で生地もしっかりしたものでしたよ。最近、入場者全員に配るユニフォームは生地がペラペラになってきてますね。

M：確かにそれは言える。

L：ロッテは昔、ファンクラブに入会した際の特典で金やん時代の復刻ユニフォームも素材が良かったですよ。

H：あのユニフォームは金田正一監督が就任したときに採用されました。あの当時としては画期的でしたよね。

L：あれは横山健一さん(元ロッテ球団職員)の話によると当時アメリカンフットボールブームだったので、アメフトをイメージしたようです。

Bs：マリーンズは現在のユニフォームの方が地味だよな。

H：うん、あのデザインは毎日オリオンズ時代のユニフォームと酷似していますね。縦縞に「M」マークは意識したのかもしれませんが。

M：子供の頃、私が初めて買ってもらった帽子は南海ホークスの帽子です。帽子のツバが赤かったかな。

H：南海ホークス時代の帽子でツバが赤いとなると、1980年ですよ。広瀬叔功監督が最後の年ですよ。懐かしいですね。

## ホークスは 優勝しないという理由が見つからない

H：ホークスの話題が少なかったですよ。

L：今年は出足が鈍いですね。

H：まあこれからですよ。まだシーズンが始まったばかりですから…



L：確かにホークスは優勝しないという理由が見つかりませんね。

E：ホークスの話もじっくりしたいのですが、時間の関係でこのへんで… これから東京ドームでホークスの試合を観戦しながら続きを語りましょう。

### ●閉会あいさつ 岩河正剛さん

今日は、総会と合同観戦を組み合わせた初めての試みです。純パの会も最近は外部との交流も活発になってきました。またパ・リーグは交流戦でも日本シリーズでもセ・リーグを圧倒しております。パ・リーグにとっても良い流れになってきました。この勢いで一致団結してやっていきましょう。パ・リーグはひとつです！



### ●白いボールのファンタジーの合唱で締めくくり

いつもの通り、白いボールのファンタジーを歌って、総会を無事に終えて、今度は東京ドームに移動です。



●総会の参加者で記念撮影



## 【純パの会・2016年第1回合同観戦】

4月2日(土)北海道日本ハムファイターズ対福岡ソフトバンクホークス 2回戦

東京ドーム 観衆：34,484人 試合時間2時間55分

ホークス 202 000 000 4

ファイターズ 000 010 020 3

H：○バンデンハークーHバリオスーSサファテ

F：●メンドーサー井口ー加藤

本塁打：内川1号(メンドーサ) 西川1号(バンデンハーク)

東京ドームに着くと土岐英一郎さんが現れた。開門と同時に席取りをしてくれていたようである。土岐さんは前日の静岡でも観戦したらしい。そして明日は大阪に戻り、京セラドーム大阪でパファローズとマリーンズを観戦するという。“バイタリティの度を越えた観戦力”とはこういうことを言うのだろう。

今年初の合同観戦、ファイターズ対ホークスの第2回戦。純パの会一行は、東京ドームの2階席の三塁側に陣取った。東京ドームは2階席の方が見やすい。1階席だと後方の列でもネットが邪魔になるのが煩わしい。

始球式は「三愛水着樂園イメージガール」の松元絵里花さんがつとめた。格好良く決めてもらった。2階席から“熱く、HOTな”視線で見つめる純パの会男性会員の方々…

試合はリック・バンデンハークとルイス・メンドーサの投げ合いで始まった。ホークスが内川聖一の今季初ホームランで2点を先制。昨年、7打数5安打と相性のいいルイス・メンドーサ相手に今年も先制パンチ。ホークスは3回にも2点を追加し、4-0とリード。ルイス・メンドーサは3回、マウンド周辺の土の具合を気にしており、審判団に訴えていた。ピッチャーは、少しでも気になるところがあると投球に影響をってしまうものと改めて感じた。5回には西川遥輝のソロホームランが出たが、7回を終わったところで4-1とホークス優勢。純パのFファンからヤジが飛ぶ。

リック・バンデンハークは7回でマウンドを降り、エディソン・バリオスが2点を献上するものの、9回はデニス・サファテが三者凡退に打ち取りホークスが接戦を制した。リック・バンデンハークは来日以来、負けなしの10連勝！(昨年9勝0敗、今季初勝利)。今年初めての純パの会合同観戦は、ホークスの勝利で幕を開けました。





●合同観戦の参加者で記念撮影

## 佐野正幸さんありがとう！

塚原 隆(東京都新宿区)

3月21日、元近鉄バファローズ応援団長で野球作家の佐野正幸さんが亡くなった。

その日の夜に訃報の連絡をもらったときは信じられなかった。

「えっ、もうすぐ開幕なのに、佐野さん、どうして……」

考えてみれば佐野正幸さんと私は不思議な縁で結ばれている。奥さまが私と同じ会社に勤めており、ご夫婦とも親しくさせていただいた。奥さまもかなりの野球通で何度か一緒に野球観戦をしたことがある。

その奥さまからも訃報の連絡をいただき、3月27日のお通夜に参列した次第である。体調が良くないことは知らされていたが、あまりにも早く逝ってしまい、未だに信じられない思いである。

佐野正幸さんは西本幸雄さんに心酔し、長らく阪急ブレーブスの応援団をしておられた。佐野正幸さんが阪急ブレーブスの応援をしている頃、私は南海ホークスのファンだった。お互い敵同士？ ながらも、1973(昭和48)年のプレーオフの話で親しくなるきっかけができた。もちろんその当時はお互い知る由もなかったが、「私はそのシリーズ、全試合を観戦しました。今度、じっくり語り明かしましょう」と言ってくれた。

その後、「塚原さん、今度、昭和48年のプレーオフの本を出しますよ」と連絡があり、出版された書籍が『パ・リーグどん底時代』(長崎出版・2009年)である。この書籍が出版されたとき、私はとても嬉しかった。何しろ昭和48年のプレーオフは、ジャイアンツV9の年でセ・リーグの最終決戦の陰に隠れてしまい、世間的な注目度の低いシリーズだった。おそらく佐野正幸さんも私も注目度の低いこのシリーズに一喜一憂していたのだと思う。

この書籍は版元の関係により絶版になってしまい、昨年『パ・リーグ激動の昭和48年』(日刊スポーツ出版社)と名前を変え、再び出版されることになった。その出版を機に昨年11月29日、「佐野正幸の、他では聴けないプロ野球の話あれこれ」と題したトークショーが中野塾で開かれた。そのトークショーが最後になってしまうとは思ってもよらなかった。

まだまだ教えてもらいたいことが沢山あったはずなのに……

まだまだ話したいことは山ほどあったのに……

今頃は、雲の上で西本監督や仰木監督と酒を酌み交わしながら野球談議をしていることだろうか……

佐野正幸さん、本当にありがとう！



●純パの会の合同観戦にて  
(写真左が佐野正幸さん)